



## 子どもの村東北

# News Letter



紅葉シーズン、歩道に面したセンターハウスの裏庭はご近所さんとの憩いの場です。

第1回

## おじゃまします。

初めて村を訪れた私と、村の人たち

柵や壁がないオープンな敷地で周囲とつながる、「子どもの村東北」にやってきました。迎えてくれたのは、スタッフの徳永さんと面川さん。どちらも朗らかな笑顔が印象的です。徳永さんの仕事は、育親（里親）の手助けをするファミリーアシスタント。家事の手伝い子どもの面倒など、家庭を力強くサポートしています。そして面川さんは問合せの窓口や事務を担当。「見学者の方に会う時は元気に対応するように心がけています」

と教えてくれました。育親と子どもたちの生活を支える2人。この村での印象的な出来事を聞いてみると、徳永さんからは「村を卒業した子がここに立ち寄ってくれた時に、自然と“おかえり!”という言葉が出たんです。この村が、自分から“おかえり”と言える環境になっていたことにうれしくなりました」という答えが。子どもたちだけでなくスタッフにとっても、この村が、“心のふるさと”のような存在なんだろうな。そんな結び付きを感じた瞬間でもありました。

またこの村では、地域とのつながりの中でさまざまなシーンも生まれているようです。草むしりをしていると、近所の方が気さくに声をかけてくれる。建物の中から散歩中の方と目が合えば自然と笑顔

になる。ホールでは、ミニコンサートに地域の方が多く参加したり、学校帰りの子どもたちが友達を連れて来て思う存分体を動かしたり…。そんな風景が覗けるのは、きっとこの村が近隣をつなぐコミュニティとして地域に溶け込んでいるから。固い絆の中で見守られながら、育親と子どもたちは安心して日々の暮らしを紡いでいくのだといいます。

時にやさしく、そして時に厳しく見つめながら、今も、そしてこれからも子どもたちのために力を尽くす2人。子どもたちへの願いを聞くと、こんなことを教えてくれました。「ただの自立じゃなく、“幸せな家庭を築けるような自立”をしてほしいんです。私たちはこれからもそのサポートを頑張るだけです」(文・及川)

## トレンドワード

# 一時保護

元児童相談所長の山崎剛さんが解説するトレンドワード。今回は、「一時保護」というキーワードを軸に、それを取り巻く現状を掘り下げます。

## 一時保護の目的とは？

「一時保護」の最大の目的は「子どもの安全を確保すること」であり、子どもを保護者（親）から分離することです。一時保護中は子どもの心身の状態を把握したり家庭状況を調査したりしますが、この権限は児童相談所長に与えられたものです。通常は親の同意を得ますが、例えば虐待により子どもの安全が脅かされている場合には、子どもの安全を最優先させるために強制的に行われることもあります。宮城県には中央（名取）・北部（大崎）・東部（石巻）、気仙沼支所の4つの県児童相談所と仙台市児童相談所があり、

宮城県中央児童相談所と仙台市児童相談所には一時保護所が併設されています。しかし、一時保護所が満員状態で保護できない場合や保護の対象が赤ちゃんや病気の子どもの場合は、里親や乳児院、児童養護施設、病院に預ける「一時保護委託」という制度が採用されます。

## 一時保護が必要となる要因は？

保護者の病気や入院といった家庭の事情をはじめ、子ども自身の問題行動など一時保護をする理由はさまざまですが、その約半数は保護者からの虐待が原因です。虐待は身体的な暴力を受けること

とは限りません。例えば、子どもの目の前で父親が母親を殴る。これも「面前DV」という法律上虐待行為になります。ところで、「児童虐待防止法」には「虐待を受けたと思われる児童を発見した場合、通告する義務がある」と明記されていることをご存知でしょうか？近所で子どもの泣き声が響いていても、『きっと“しつけ”だろう』と思うかもしれません。しかしそれを判断するのは児童相談所の仕事です。虐待の可能性がある状況を見聞きした場合は、国民に通告義務があります。簡単に管轄児童相談所につながる「189」を利用してもよいでしょう。通告を受けた児童相談所のスタッフが48時間以内に家庭訪問をし、子どもを目視することが原則となっています。



児童相談所全国共通ダイヤル



虐待かもと思ったら  
**189** 番へお電話ください  
いちはやく

## 子どもの安全が最優先

一時保護所で子どもを保護できる期間は原則2ヶ月と決まっています。保護者から分離している状況のため、この期間中に早急に今後の生活の場を決めることが大切です。一時保護の間は、基本的に子どもたちは学校へは通えません。それは、何よりも子どもたちの身の安全が最優先されるからです。一時保護所はあくまで緊急避難所のような場所のため、外出先で何かあっては取り返しがつかなくなってしまいます。しかし保護所の中では何もせずに過ごす訳ではなく、集団生活の中で勉強をしたり野外活動を行うなどのプログラムが決められています。

## 子どもの村東北の役割

近年ニュースでも多く取り上げられているように子どもへの虐待事例が増え、

一時保護所の満員状態も続いていることから一時保護委託が増えています。家庭に恵まれない子どもの代替養育が、乳児院や児童養護施設から里親などの家庭養護に移行しつつあるように、一時保護委託も里親を活用することが多くなってきました。今後、里親を中心に家庭養護を推進する「子どもの村東北」は一時保護委託についても頼られるようになってくると思います。

## 安全な環境をどう整えるか

一時保護所を出た子どもの約6割は、それぞれの家庭に帰ります。もちろん家庭環境の調整や保護者との話し合いの結果が重視されますし、家庭に戻ったあとも児童相談所の指導が続くことがほとんどです。しかし、虐待の程度が重かったり、子どもが家に帰るのを拒んだりした場合は

施設に措置されたり里親に委託されたりします。虐待の問題はどうしても保護者へのバッシングがクローズアップされがちです。しかしそれでは子どもが「私は悪い親に育てられたの？私は悪い子なの？」と誤ってしまいます。子どもを救い安全を確保して、同時にその保護者を支援する。そして家庭環境を改善し、適切な養育ができるように子育て支援をしていくということが、最も大切なこれからの課題であると思っています。

### PROFILE

山崎 剛（やまざき たけし）

臨床心理士。元・宮城県中央児童相談所長。現在はみやぎ心のケアセンター副センター長と子どもの村東北副理事長を務めている。



# いく おや 育親さん インタビュー

## 「家族を求めている子のために」 温かな想いで子どもとの日々を紡ぐ



「子 どもの村東北」で育親（里親）さん。今から26年前、テレビ番組で里親制度を知り、後に養子となる男の子を引き取ったことからその暮らしはスタートしました。「こんな家族の形態もあるんだなと思って、主人に相談したことが始まりです」と振り返ります。2人の子を里子として迎え入れ、立派な社会人に育てあげた渡辺さん。子育てがひと段落し、ひとりの時間を楽しんでいた時、とある子どもとの存在がきっかけでこの村で暮らすことになりました。「落ち着いて暮らせる場所がなかなか見つからない子どもと出会ったんです。里親をしていると、子どもを取り巻く複雑

な環境がある中でそういう子と出会います。その後、この村で温かく迎え入れてくれることを知って、それならもう、私はその子のために行くしかないな。これからの人生の数年を、その子と一緒に暮らしたいなと思いました」

### 「最低限の

### 自分のことは自分でやる」

それが、渡辺さんが考える生活のルール。部屋の片付けや食後の食器洗いなどは、子どもたちが自ら行うことになっています。どんな家庭とも違わない、ありふれた家族の風景。そんな中で、その子との2人暮らしは始まりました。時には尖ることで自分の感情を表現する子と衝突することも多く、渡辺さんは本気でぶつかることに悩んだこともあったそうです。しかしそんな時でも子どもを丁寧に見守り、穏やかに受け止めます。

「この行動の裏で何が言いたいんだろうと考えるようになったんです。もしかしたら、私がどういう態度をとるのか試していたのかもしれないですね。でも最後までしっかりと向き合ったことで、いくらぶつかったてもこの人は逃げない」と思ってくれたみたい。そうやって徐々に絆が築かれていくことにはうれしさを感じました」。この村の村長や

スタッフ、渡辺さんの家族や知り合いなど、多くの大人たちがその子の心に寄り添いました。安心できる場所と信頼できる大人に囲まれる中で打ち込めるものも見付け、身体も心も豊かに育まれていきます。そして現在は、これからの夢に向かい大きく歩み出しているところです。「大人になって働くようになったら、子どもの村に寄附したい」と口にしたこともあったといいます。渡辺さんはその子に、こんな祈りの言葉を投げかけます。「立派な大人になつてほしいなんて思わないです。ただ、今まで取り巻いていた大人たちのことを許せるような、自分のことをしっかり見つめられる大人になつてほしい。それだけです」



これまで長い間、どうして里親を続けてこられたのか。渡辺さんは自身のこれまでをこう振り返ります。「もちろんつらい時期もありましたよ。でも、子どもたちはどこにも行く場所がなくて私のところへ来ている。だから私の感情だけで逃げたはダメだなって思ったんです。まだ10数年しか生きていない子どもたちの置かれている状況って、全部大人が作り出してきたもの。でも、里親という関係の中でこれまでの生活を変えられるのであれば、社会的養護が必要の子たちがいる限り、家族を求めている子どもたちの一助になりたいんです」

現在一緒に暮らしているのは、よく笑い、その日の出来事をよく話してくれるとても明るい性格の子。渡辺さんも「美江さんのおかげで、1日1回は笑ってるよ」とよく言われるんです（笑）。と笑顔で語ります。「でも、やっぱり時にはつらい経験を思い出すことがあるみたいですけどね。その時はじつくり耳を傾ける。そしてこれからは別の未来が待っているよって伝えてあげたいです」。またひとり、未来ある子どもが新しい光に触れる。渡辺さんはその瞬間を、これからもまた家族を求めている子どもたちに見せていくのでしょ。

## 支援企業・団体 \ 応援 / メッセージ



宮城中央ヤクルト販売株式会社  
代表取締役社長 永富 淳次

女性スタッフの多い職場柄、子育てに悩むたくさんのお母さんたちに接してきました。その経験から子育てには、「一緒に悩み、助け合える「仲間づくり」が大切だと思っています。子ども村東北には全国に様々な分野の仲間がいて、いつも村のことを気にかけてくれています。私は時々社員を誘って村に伺いますが、村の子どもたちとの交流が支援継続の糧となっています。皆さんもぜひ一度、村に足を運んでみてください。

## スタッフおすすめ 図書

### 『うちの子になりなよ』

古泉智浩 著 / イースト・プレス (2015)



6年間の不妊治療で600万円を支払い、「どうしても子どもがほしい」という思いで里親という選択をして、待望の赤ちゃんを預かり子どもとの日々をマンガ家である

古泉さんが書いた子育てエッセイです。里親という特別な印象を抱きがちですが、少なくとも子どもを育てるという行為や、子どもとの日々が親に与えてくれるものは、血縁の有無とほとんど関係がないのだなということでした。

## ご支援いただいた企業・団体のみなさま

2018年4月13日～8月31日 \*敬称略・順不同

### 支援会員寄付

株式会社アルファー企画、医療法人社団静実会 ないとうクリニック、社会福祉法人地域サポート虹 医療法人みやぎクリニック 仙台画像検診クリニック、有限会社白川牛肉店、医療法人 ありま小児科医院 おおぬま小児科、株式会社MAT(ワンギテック(台湾)日本支社)、東北大学小児科同窓会、株式会社ホームユニバース トヨタカローラ宮城株式会社、有限会社細谷ドライクリーニング工場、医療法人社団伊藤医院、有限会社 北斗 アサヒグループホールディングス株式会社、東北会病院、ミライズ株式会社、ながれだ皮膚科、なかがわふるさと夢工房 有限会社ふじや千舟、ANK総建株式会社、ジェイエス株式会社、医療法人社団東北福祉会予防福祉クリニック

### 一般寄付

アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc.、チャリティーコンサート for 仙台 実行委員会 宮城中央ヤクルト販売株式会社、防災フェスタ in しみず、Freundeskreis Tsunami-Waisen KIBOU e.V アサヒグループホールディングス株式会社、東雲音楽事務所、認定NPO法人さわおとの森、株式会社クリーンテック 東北大学大学院医学系研究科 法医学分野、繁昌院、東北新生産業株式会社、JOYBELL-KADOMA カトリック藤沢教会 プリエ・アンサンブル、TMコミュニケーションサービス株式会社、国際ソロプチミスト奈良-まほろば 横浜市立永田台小学校PTA ふるさとふれあいまつり実行委員会、仙台いずみライオンズクラブ、文京学院大学 プレームズ 国際ソロプチミスト熊本-さくら、KDDI株式会社 東北総社、富谷黒川地区教育研究会学校保健部会 みちのくノルディックウォーキングネットワーク、茂庭台連合町内会、鳴子温泉観光協会、仙台脳血管内治療親睦会 多摩養育園東日本支援本部、茂庭台学区町内会連合会

支援会員 個人会員 932名 / 団体会員 83企業・団体 \*2018年8月31日現在

## 本年度助成頂いている団体

公益法人協会「東日本大震災 草の根支援組織応援基金」  
特定非営利活動法人東日本大震災こども未来基金



特定非営利活動法人

# 子どもの村東北

資料請求・お問い合わせ / TEL:022-748-6936

WEBサイトは [子どもの村東北](http://www.childrensvillage-tohoku.org) で検索ください。

### 【法人事務局】

〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目7-30 角川ビル 511  
TEL 022-748-6936 FAX 022-748-6931  
E-mail info@cvtohoku.org URL <http://cvtohoku.org/>

### 【子どもの村東北 センターハウス】

〒982-0252 仙台市太白区茂庭台2丁目16-9-1  
TEL 022-281-9653 FAX 022-281-9659  
E-mail center-t@cvtohoku.org